



7年前から施錠された部屋に監禁されているジョイと、彼女がそこで出産し、外の世界を知らずに育った5歳の息子ジャック。部屋しか知らない息子に外の世界を教えるため、自らの奪われた人生を取り戻すため、ジョイは全てをかけて脱出する。

脱出劇の先にある日常

ごくごく小さな映画でありながら、強く激しく心を揺さぶる名作が誕生しました。

はじめは天窓があるだけの狭い部屋。母と5歳の少年が何気ない時間を過ごしています。しかし、何かが違う。二人は長年その部屋に閉じ込められているのです。

この映画は部屋からの脱出劇では終わりません。その先の日常こそが真のテーマです。子供にとって世界とは何か。母は心の傷から立ち直れるか。息も詰まりそうな絶望と、計り知れない希望が交錯します。

母親役を演じたブリー・ラーソンは、アカデミー主演女優賞を受賞。天才子役と若き実力派女優の名演が映画を支えています。

「ルーム」は、4月8日からTOHOシネマズ 六本木ヒルズにて上映します。

▶ TOHOシネマズ 六本木ヒルズ



TOHOシネマズ 六本木ヒルズ

(2016.03.15)

ブリー・ラーソンがアカデミー主演女優賞受賞！

この映画は、世界的な文学賞「ブッカー賞」の最終候補作になったエマ・ドナヒューの小説『部屋』を原作に、同氏みずからが脚本を手がけて制作された作品です。アカデミー主演女優賞を受賞したブリー・ラーソンの演技のみならず、作品自体も多くの批評家から「ここ10年で最高の一作」と絶賛されています。監督は『FRANK フランク』のレニー・アブラハムソン。主演は『ショートターム』で注目を浴び、今作で今年度のアカデミー主演女優賞を受賞したブリー・ラーソン。息子のジャック役には、9歳にして10以上の演技賞を獲得する天才子役、ジェイコブ・トレンブレイ。監督が「ひととき演技が目立っていた」「カジノで大金を当てたようだ」と大絶賛し、彼を抜擢しました。この話題作が見られるのは4月8日から。ぜひ映画館の大スクリーンで名優たちの演技をご覧ください。

プロフィール



映画評論家・クリエイティブディレクター。1962年東京生まれ。共著書に新潮新書「スター・ウォーズ学」。企画・構成原案・取材を担当したWOWOW「ノンフィクションW 撮影監督ハリー三村のヒロシマ」でギャラクシー賞受賞。